▼タイトル▼

不定詞　基礎

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

The teacher told his students ［　　　］ out of the classroom.  
  
（名城大）

▼選択肢▼

① not go

T② not to go

③ not going

④ don’t go

▼解説▼

解答：②  
【設問の解説】  
「教師は生徒たちに教室から出ないように言った。」  
〈tell＋人＋to ～〉で「（人）に～するように言う」という意味。この形で「（人）に～しないように言う」のように不定詞を否定形にしたいときは、**不定詞の前にnot**をつけて表す。  
〈ask＋人＋not to ～〉「（人）に～しないように頼む」  
〈tell＋人＋not to ～〉「（人）に～しないように言う」  
〈want＋人＋not to ～〉「（人）に～しないでほしい（と思う）」  
また、notのかわりにneverを使って意味を強めることもあるので覚えておこう。  
The teacher told his students never to go out of the classroom.（教師は生徒たちに教室から決して出ないように言った。）  
out of ～「～のそとへ」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

She silently stepped into the room ［　　　］ wake her husband.  
  
（山梨大）

▼選択肢▼

T① so as not to

② not as to

③ as little as

④ in case

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】  
「彼女は夫を起こさないようにそっと部屋に入った。」  
不定詞の副詞的用法として、「〜するために」という**目的**の意味をはっきりと示すために、in order to 〜 またはso as to 〜 という形で表すことがある。本問は、さらにその否定形「〜しないために／〜しないように」という意味で表すと文意が通る。不定詞を否定形にするときは、**不定詞の前にnot**をつけて表すので、in order to 〜、so as to 〜 はそれぞれ次のような形になる。  
「〜しないために／〜しないように」  
＝ in order not to 〜  
＝ so as not to 〜  
なお、in order to 〜 は文頭で使えるが、so as to 〜 はふつう文頭では使えないことも知っておくとよい。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

He was so lucky ［　　　］ the entrance exam.  
  
（－）

▼選択肢▼

T① as to pass

② that it passes

③ for passing

④ in order to pass

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】  
「彼は幸運なことに入学試験に合格した。」  
so luckyのsoに注目。「試験に合格するほど幸運だった」と考えると文意が通るので、〈so＋形容詞[副詞]＋as to 〜「〜するほど…／とても…なので〜する」を使って表す。この表現は〈形容詞[副詞]＋enough to 〜〉とほぼ同じ意味。  
He was so lucky as to pass the entrance exam.

＝ He was lucky enough to pass the entrance exam.